

令和6年度 河北町通学路等安全点検一覧

	点検箇所	現 状	対 策
①	学校校舎玄関前、と東側・北側町道	登校時間の一般車両の通行が危険。通行規制、または徐行等の看板設置が必要である。	学校運営協議会で協議事項とし、出入り口に通り抜け禁止の看板の設置及び地域住民への周知を検討する。(学校・教育委員会)
②	河北町西里字下楨 47-1 付近の西部街道 2 5 号線	町道が新設された。通学路のため、横断歩道の設置が必要である。	横断歩道の設置を検討する。(警察・県)
③	溝延地区 7 区 県道溝延河原線と県道皿沼河北線が交差する五差路	変形五差路で見通しが悪く、優先道路が分かりにくい。 昨年度、路面表示を引き直した。	県の道路整備等の方針を示す「山形県道路中期計画」に位置付けられ、今後交差点改良が進められる。(県)
④	県道皿沼河北線溝延地区田井地内	道幅の狭い道路だが、スピードを出す車両が多い。昨年度、指導線及びグリーンベルトを引いた。	ドットラインを引く。(県)
⑤	田井神社の鳥居	老朽化し、倒壊の可能性ある。現在は集合場所に指定していないが、本来は集合場所にしている。	他地区の改修事例を提供する。(教育委員会)
⑥	町道高関長表線高中交差点	車が左折する際に、減速せずに侵入する。左折した道路が通学路のため、危険である。	外側線や路側ペイント等で交差角を 90° に近づけ、左折車輛の減速対策を講じる。効果を検証し、必要に応じて段階的にラバーコーンの設置を検討する。(町)
⑦	谷地南部地区 荒町東一丁目交差点(信号機なし) 町道高関長表線	交通量の多い交差点。横断歩道が長い。	現状ある横断歩道を引き直す。(警察) 横断旗の更新、街路樹の剪定を行う。(町) 通学路の確認を行う。(学校)
⑧	谷地南部地区 町営バス停南部小前 交差点	歩道に沿って植え込みがあり、低学年が見えにくい。昨年度も、植え込みの剪定を行った。	植え込みの剪定を行う。植え込みの一部撤去を検討する。(町)
⑨	河北町谷地ひな市 1 丁目 5	通学路(小中学校とも)になっており、自転車、徒歩で東西に走る道路を横断する者が多い。	横断歩道の設置を検討する。(警察)
⑩	寒河江村山線末広町北地内	空き家があり、壁も崩れ落ちている。倒壊の危険がある。	現状解消に向け、働きかけを行う。(町)
⑪	県道樽石河北線 岩木橋付近	ガードレールの破損が激しい。支柱から外れている。破損している部分が鋭利で危険である。	現在設置されているガードレールは不要となっており、撤去について検討する。(町)
⑫	下沢畑公園前(県道湯野沢寒河江線)	登校時、集合場所に集合する際に、道路を横断する必要がある。昨年度対策として、路面標示・ドットラインを引き直したが、依然としてスピードを出す車両がある。地区民からも安全対策について要望が出ている。	現在県と町で県道湯野沢寒河江線の沢畑地内の安全対策について検討をしていく予定となっている。(県・町)